

第4回 旭川流域懇談会 議事要旨

第4回旭川流域懇談会は、事務所長の挨拶に続き、1.旭川下流域現地見学会報告、2.旭川で実施した各種調査報告（河川一斉水質調査、河川空間利用実態調査、水生生物による水質の簡易調査、堤防の出水前点検・緊急点検）、3.各種協議会報告（百間川河口水門周辺有効活用方策検討協議会、百間川分流部周辺有効活用方策検討協議会、旭川流域連絡協議会）、3.トピックス情報（平成16年における旭川の洪水状況）、5.その他（旭川流域委員会及び準備会スケジュールについて、旭川流域懇談会活動イメージ図（修正案）、河川整備基本方針・河川整備計画の策定状況、旭川の利水の現状）について討議を行った。

議事要旨は以下のとおり。

旭川流域懇談会の質疑内容	質疑に対する意見・回答及び決定事項
<p>1.旭川下流域現地見学会報告について 平成16年6月6日（日）に実施した旭川下流域現地見学会【参加36名】の結果報告を行い、意見交換を行った。</p>	<p>委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見学会の今後の予定。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見学会では現地説明資料を作成する。これを積み重ねることで多くの資料がまとまり、多くの方に見てもらえる。これが重要であり、今後も季節の良い時期に実施していきたい。 <p>委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の見学会で川の歴史を初めて知ったという方が多かった。岡山市のデジタルミュージアムや県立博物館などを利用してビデオや映像で恒常的に目に触れる機会をつくってはどうか。 ・ 今回限りで終わりというのでは継続性もなくて広がりもできない、もっと市民の方に知ってもらえる仕掛けが必要ではないか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在行っている公民館活動を通じて機会を増やして行きたい。 <p>委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どのような方が見学会に参加されたのか。その動機は。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞広告による一般公募である。動機は、このような機会を期待していた、旭川・百間川の現状（良い点、悪い点）や自然を知りたい方が多かった。 <p>委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見学会は一般向けであるが、小学校とか、地域に対して川との関わりでどのような取り組みをしているか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国交省では小学校の総合学習でお手伝いしている。川に近い小学校では百間川の水質浄化施設の見学や河口水門現場ではポスター描きの協力も得ている。また、ARネットが総合学習への協力も行っている。 ・ 今後も要望に応じて協力していきたい。今回の見学会は河川の歴史という観点では百間川の遺跡発掘現場が注目された。ただこれを保存してほしいという意見が多かったが保存は難しいと思われる。百間川、旭川を知っていただくということでは見学会の効果は随分あったと思っている。

旭川流域懇談会の質疑内容	質疑に対する意見・回答及び決定事項
<p>2.旭川で実施した各種調査報告について 平成 16 年度実施または取りまとめを行った 河川一斉水質調査、河川空間利用実態調査、水生生物による水質の簡易調査、出水前点検についての結果報告を行い、意見交換を行った。</p>	<p>河川一斉水質調査について 【意見なし】 河川空間利用実態調査について 委員意見 ・全国 109 水系で利用状況ランキングを付けるにはどのような調査をしているのか。 事務局 ・河川公園など人が多く集まる場所を対象にした定点調査、堤防沿いを区間区分した区間調査に分けて、休日、平日の調査日を設定し、全国一斉に利用人数を調査し、一定の計算式に当てはめて推算したものである。 委員意見 ・この調査結果は、スポーツ、釣り、水遊び、散策など河川を利用した直接的な人数を想定しているが、例えば旭川の堤防道路を車で毎日通勤で利用している場合、旭川の風景を毎日見て季節の変化を感じており、このような間接利用を川の特徴に応じてカウントしても面白いのではないかと。(旭川は道路向き、吉井川は鉄道向きと言えるのでは。) 事務局 ・その点については、本来は道路の交通調査において河川沿いの道路の利用を考慮してもよいかもしれない。 委員意見 ・旭川の利用状況の特徴は何か。 事務局 ・百間川の下流箇所はボート利用が特徴。旭川本川筋は散策が多く、利用場所は高水敷、堤防である。平井箇所では水面でのスポーツ、水遊び、水際、高水敷での利用が多い。また新大原橋箇所の河原では水遊びや散策という傾向が見られる。 委員意見 ・以前、中国 13 河川を対象に散策利用に着目して川への利用状況を調査した。その結果、田舎の川ほど利用密度が高く、国道や県道と兼用されている堤防区間では利用が少ない結果が得られた。堤防上の道路整備では河川空間利用への考慮が必要ではないか。 委員意見 ・旭川の場合、自転車に乗って走れるコースが少ない。河原に下りる場合も危ない国道を横断することになる。つまりアクセスの方法である。日常的にジョギング、散歩、サイクリングなどで利用する場合と、スポーツや水遊びに車で利用する場合とではアクセスの方法を工夫する必要があるのではないかと。 事務局 ・旭川の利用総数(人)は全国 109 水系中 46 位であるが、一人当たりの利用回数では 93 位と低い。旭川の場合兼用道路が河川利用を遮断しているのが原因であれば利用頻度を上げる方法として坂路や通路の整備を考えていく必要がある。 水生生物による水質の簡易調査について 【意見なし】 出水前点検について 【意見なし】</p>

旭川流域懇談会の質疑内容	質疑に対する意見・回答及び決定事項
<p>3. 各種協議会報告 岡山河川事務所が現在設置している各種協議会の内、百間川河口水門周辺有効活用方策検討協議会、百間川分流部周辺有効活用方策検討協議会、旭川流域連絡協議会に開催状況について報告を行い、意見交換を行った。</p>	<p>百間川河口水門周辺有効活用方策検討協議会について 委員意見 ・ 百間川河口域は漕艇場などに利用されており、ある一定の水位を保つ必要があると思うが、どのような水門操作をしているのか。 事務局 ・ 平常時は水門を閉めてある一定水位を保っており、その水位が上昇すれば干満差を利用して海に放流する水門操作を毎日行っている。 委員意見 ・ 百間川河口水門周辺有効活用協議会も最終段階に入っている。河口水門の増設に対する影響や技術的な問題は地域との話し合いでクリアしてきた。次はこの周辺をどのように有効活用していくかということについてその見通しはどうか。 事務局 ・ 周辺有効活用方策については、旭川水系河川環境管理基本計画（平成元年3月策定）でこの地域の空間利用方針を決めている。一方、地元住民から水防拠点整備、周辺道路整備、環境保全、漕艇会場の跡地利用などについて有効利用の提案・意見を頂いており、岡山市の計画との調整を行い、今後2回程度の協議会を開催し最終提案をしていくことになる。 百間川分流部周辺有効活用方策検討協議会について 委員意見 ・ 分流部周辺有効活用方策の整備の進め方で、短期計画（5～10年）と中期計画（20～30年）があり、一の荒手は短期と中期、二の荒手は中期になっているがなぜか。 事務局 ・ 一の荒手整備の最終目標は、2,000m³/sの分流機能を確保することであるが、百間川の河道能力に合わせて向上させる必要があり、予算面の制約などから短期、中期に分けた。一の荒手の短期目標は、現状に応じた洪水を確実に流す分流機能として1700m³/sを目標にしている。中期で2000m³/sに向上させる。 委員意見 ・ 短期、中期の期間については、計画通りに進むのか。もし、中期が20～30年計画であれば、旭川の河川整備計画のメニューに上がることになるがその点はどうか。 事務局 ・ 現在行われている三位一体改革の行方によって治水事業予算が大きく変化する可能性があり、現時点で整備計画に含めるかについては言及できない状況にあり、河川整備計画が動く時点になって含めるかにどうかについては判断していきたい。 委員意見 ・ 百間川分流部の中原川合流点の所に防災拠点整備を予定しているが、この場所が防災拠点上、一番安全な場所という風に理解してよいか。また、この防災の意味は地震も含むのか。 事務局 ・ この場所の選定は、岡山市から国土交通大臣申請によって承認されたもので、幹線道路に近いところ、背後地の関係や、面積、施設などの基準を満たしている。施設の整備については岡山市と協議中である。</p>

旭川流域懇談会の質疑内容	質疑に対する意見・回答及び決定事項
<p>4. トピックス情報</p> <p>平成16年は日本への台風上陸数が10個と過去最高を記録した。岡山県には、台風16号、18号、21号、23号が影響し、高潮被害が瀬戸内沿岸地域で発生したことが特徴に挙げられる。これらについて状況報告を行い、参考として新潟・福島豪雨、福井豪雨、円山川・由良川豪雨について状況報告を行い、意見交換を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここで言う防災拠点とは、広域的な水防活動の拠点としての機能を設ける河川防災ステーションをイメージしている。地震時にも利用は可能である。 <p>委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災に関して、ここでは河川防災が主であるが、国、県、市が一緒になった広域的な防災への取り組みはあるのか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山県には県防災会議があり、関係行政機関を含めてメンバーになっている。防災計画が作られており、今年は水害関係を含めた協議会が行われレポートが出されていると聞いている。岡山大学の竹宮先生がソフトの防災対応を指導されるとのこと。 ・ また現在は、地震の他に、津波、高潮関係を含むハザードマップの作成を市町村が行うことが提言されており、岡山河川事務所としても協力していきたい。 <p>旭川流域連絡協議会について</p> <p>委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旭川流域連絡協議会では、防災面の連携を目指した取り組みとして3つのモデル地区による自主防災組織の育成・強化が行われているが具体的にはどういうことか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成10年10号台風災害を教訓に、流域が一体となって行政と地域の役割分担によって災害の軽減を目指す方向性が確認され、現在、行政が解決すべき点、地域が取り組むべき点の整理を行った段階である。今後3つのモデル地区については実践活動に向けた取り組みに移行していく予定である。 ・ また、流域連絡協議会を構成する部署は土木系が主体であるが、防災に関するテーマであり、総務、消防、保健衛生の担当者にも引き続き参画していただく予定である。 <p>委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年は集中豪雨や台風が多かった。ただ、旭川では河口部で高潮被害が発生したが、旭川全体としては、被害は少ない印象があるが、河道整備などが進んだ成果と言えるのか。もし、河道整備等の成果と言えるのであれば、今年の洪水ではこのような効果があったと言う比較した資料があってもよいのではないか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旭川の改修はここ30年、百間川を主体に行ってきた。台風23号では2300m³/sの出水があり、約100m³/sが百間川に越流した。旭川本川はこの程度の洪水規模を流す能力は従来から備わっていることから被害が少なかったと言える。 ・ なお高潮による浸水被害については、国交省が所有する排水ポンプ車を出動させて内水氾濫の早期解消ができた。国土交通省岡山河川事務所3台、中国管内で十数台、全国的には百何十台の排水ポンプ車を所有している。

旭川流域懇談会の質疑内容	質疑に対する意見・回答及び決定事項
<p>5. その他 旭川流域委員会及び準備会スケジュール、旭川流域懇談会活動イメージ図(修正案)、河川整備基本方針・河川整備計画の策定状況、旭川の利水の現状について報告を行い、意見交換を行った。</p>	<p>旭川流域委員会及び準備会スケジュール 旭川流域懇談会活動イメージ図(修正案) 河川整備基本方針・河川整備計画の策定状況について 事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3回流域懇談会で提示した旭川水系河川整備基本方針策定期(平成16年度末目途)について、現在の状況から今しばらく時間を要するとして1年延長して平成17年度末目途とする修正案を説明し了解を求めた。これに伴い旭川流域委員会及び準備会の設置スケジュールも1年延長になることを説明した。(委員了承) <p>旭川の利水の現状について 委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業用水は合同用水堰のような統合管理すれば、水量は余ってくるのでは。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業用水については農地が宅地化して面積が減っている現状があり、本当の必要量については精査が必要である。ただ、農政関係に新しいデータを要求しているが、水路維持や末端への用水が必要とのことで余剰水はでないとの見解があり、農業用水の合理化は難しい課題となっている。 <p>今後の懇談会活動について 事務局 委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の参考として、整備計画においてどこまで記述するか、最近の他河川の事例を示してほしい。 河川整備の必要性を判断する意味において、今まで実施してきた整備効果や今後実施する整備内容による治水効果を段階的に示してほしい。全体像がよく見えない。昭和9年9月洪水が現在発生したらどうなるのかなど。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> 検討します。 <p style="text-align: right;">閉会 16:42</p>